

令和2年度 第3回苫小牧市子ども・子育て審議会（書面会議） 委員意見

機関名：苫小牧駒澤大学
氏名：永石 啓高
<p>意見</p> <p>各施設の利用定員設定の数値につきましては、（認可定員）\geq（利用定員）の基準を満たしているのであれば意見を申し述べる所ではありません。勿論、基準適正を確認された数字であると存じますので異論はありません。</p> <p>ただし、利用定員設定及び変更手続きに関しましては、資料にもありますように、</p> <div style="text-align: center;"> <pre> graph LR A[事業者から 利用定員申し出] --> B[審議会での 意見聴取] B --> C[北海道と協議の上 決定] </pre> </div> <p>となっておりまして、これ迄のハード的な施設変更、経営者（経営権）の変更を伴うもの（特にみその保育園 [しみず保育園との統合]、ひまわり保育園 [民間移譲]）に関しては、それらの変更が、運営費給付の対象として適格であるのか否かについては（確認なきこととは存じますが）、手続き法上、審議会にオンテーブルする必要があるのではないかと考えます。</p> <p>変更理由は資料に明示されておりますが、その変更が運営給付金の対象として適格か否か（勿論適格であると考えられますが）、報告していただき、審議処理するのが適正手続きなのではないでしょうか。手続きの瑕疵は責任が発生するものと考えられ、事故が発生した場合その瑕疵が露見するものと思われまます。</p> <p>民間法人への移管は、極端な話、施設基準だけでなく、保育機関としての適性をも審査対象とすることも求められるのではないのでしょうか。</p> <p>市が認可保育園として委託管理するのですから、保育機関としての適性の審査は保護者への責任となると思われまます。</p>

機関名：北海道私立幼稚園協会苫小牧・日高支部
氏名：青山 邦子
<p>意見</p> <p>令和3年度には、0歳児の受け入れ人数が24人増になるので、0歳児の待機児童が減少することを期待します。</p> <p>令和3年度の利用定員については、今後の少子高齢化の中で、事業者の申し出が利用者にとって、そして施設の安定した経営のために、適切な人数であってほしいと願っています。</p> <p>各施設の利用定員については、特別な意見はございません。</p>

機関名：苫小牧市法人保育園協議会
氏名：遠藤 明代
意見 意見は特にありません。

機関名：苫小牧市子ども会育成連絡協議会
氏名：佐藤 守
意見 ①幼保連携型認定こども園への移行で、ふたば幼稚園は、0～2歳児を、令和3年度より受け入れることになっていますが、他の2園の移行幼稚園は0～2歳児の受け入れがない理由と、今後の受け入れ予定があれば教えてください。 ⇒ふたば幼稚園は認定こども園化に合わせて、全年齢児の受け入れが可能な新園舎を整備しますが、他の2園は既存の幼稚園園舎のまま移行し、0～2歳児については別に運営する小規模保育事業所で受け入れることとしていることが理由となります。そのため、今後の受け入れ予定については現段階ではありません。 ②小規模保育施設の指導監査は令和2年7月29日に2件実施していますが、他の施設の監査予定を教えてください。 ⇒令和2年12月に4園の書類監査、令和3年1月に3園の現地検査を予定しています。

機関名：苫小牧市PTA連合会
氏名：鈴木 亜沙美
意見 少子化の時代が進んでいます。現在該当する子どもの人数がどれくらいいるのか、統計数もあればよかったですと思います。

機関名：苫小牧市小学校長会
氏名：毛利 毅
意見 利用定員の設定について、了承いたします。 設定するにあたり課題があった場合は、それが何かを聞いてみたかったです。 ⇒本市において特に入所待ちの多い0～2歳児の利用定員の増員を主な課題として捉えておりますので、今後も小規模保育施設の新設などに取り組んでまいりたいと考えております。

機関名：苫小牧市医師会
氏名：小原 敏生
意見 特に指摘や意見はありません。

機関名：苫小牧市民生委員児童委員協議会
氏名：山岸 陽子
意見 利用定員設定については異議ありません。保育士の確保の問題は大丈夫ですか。 ⇒施設の新設や利用定員の増員に伴い、事業者は新たに保育士を確保する必要がありますが、各事業者の保育士の確保状況につきましては随時報告を受けており、問題がないことを確認しております。

機関名：苫小牧市女性団体連絡協議会
氏名：北岸 由利子
意見 概ね了解いたしました。 1. 新制度幼稚園から認定こども園への移行は今後も増加するものと思いますが、本市で現状新制度に移行していない園は何園くらいあるのでしょうか。また、今後移行の可能性を把握している園はありますか。 ⇒令和2年度時点では3園が未移行となっていますが、その内の1園が令和3年度に認定こども園へ移行します。残りの2園の移行予定等については未定となります。 2. 認可を受ける時に設定する認可定員は実態の園児数とかけ離れている場合もあるとのことですが、適正数の基準はあるのでしょうか。また、保育士不足は認可定員設定に影響がありますか。 ⇒認可定員≧利用定員であれば適正となります。 認可定員の設定には、定員数に応じた保育士数を確保する必要があります。従って、保育士が多ければ認可定員を多く設定でき、少なければ設定できる認可定員も少なくなります。

機関名：苫小牧市ファミリー・サポート・センター
氏名：篠田 利恵
意見 異論ありません。

機関名：苫小牧商工会議所
氏名：末松 仁
意見 特になし。

機関名：連合北海道苫小牧地区連合
氏名：山上 晃
意見 結論から申し上げますが、今回のご提案に賛成いたします。 その上に立って賛成の理由を以下2点について発言いたします 1. 認可保育所、認定こども園、小規模保育事業所の定員見直し理由をみると、認定保育所では統合、民間移譲のため閉園とありましたが、利用される幼児の方が全体的に減少しているのか。親の送り迎えなどをする際に自宅と職場などの地域的な課題があるのか。根本的な原因を改善する対策はいつも審議会で議論されていますので今後も可能な対策を模索し合いたいと思います。 2. 施設毎の定員増減をご説明いただいておりますが、結果として全体の定員案ではプラスになることで安心しております。 部会の実施状況と結果報告をいただきましたので感想を述べます。 コロナ禍で書面会議などを活用されたにしても、この短期間に4回の部会を開催された事に対し敬意を表します。 子どもに対する虐待の事例は、コロナ禍でみんなが自粛生活を長期にわたって強いられるなどの中で、大人のストレスのはげけ口として弱者である「守らなければならない最も愛しい子どもたち」にも向かいつつある恐ろしい環境にあると思います。 今回条例（最終案）を大切にして苫小牧市から少しでも悲惨な出来事を減らしていくように私も行動したいと思っています。 部会委員の皆さま、ありがとうございます。

機関名：苫小牧青年会議所
氏名：佐々木 隆幸
<p>意見</p> <p>特定保育等を増やすほど、園そのものの質等は低下しないのか。それに伴い、働き手の問題解決に向けての対応をお聞きしたいです。</p> <p>⇒<u>小規模保育施設2園の新設とひまわり保育園の民間移譲につきましては、選定委員会を開催し、プレゼンテーション等に基づき事業者を選定しております。また、既存の施設につきましても、市又は道は監査等を通して、保育と施設運営の質が保たれていること定期的に確認を行います。</u></p> <p><u>保育士不足の問題への対応につきましては、市では潜在保育士研修や合同企業説明会を開催しておりますが、より効果の高い開催方法等につきまして引き続き検討してまいります。</u></p>

機関名：公募委員
氏名：藤崎 詠子
<p>意見</p> <p>利用定員に関してはありません。</p> <p>関わる内容として、市HPの保育園の空き状況の情報を見て「入所人数に空きができる可能性がある」と記載があり、話を聞きに行くと「もういっぱい難しい」と回答されたという例を何回か聞いたことがあります。</p> <p>市民への情報更新の頻度など、この機会に検討していただければと思います。</p>